

令和7年度 当初予算をお知らせします

●スタートアップ総合支援事業 1,605万円

各省庁との相談や専門家の紹介などスタートアップ支援の総合窓口としてワンストップで行い、市内に魅力あるスタートアップを集積させ、市内企業とのビジネスマッチングを通じて市内産業の「成長」と「創造」を促します。

●デジタル手続きの総合支援事業 263万円

市民のデジタル手続きの総合支援を行い、市役所に行かなくても手続きができる「行かない窓口」を推進します。

■産業団地の構築

●片山津IC産業団地拡張整備準備費 2,457万円

市片山津IC産業団地第1工区の整備に続き、さらなる事業用地の確保のため、第2工区に着手します。

●次世代産業パーク整備準備費 1,655万円

企業ニーズに対応できる規模の産業用地を確保するため、新たな産業集積地として、新産業創出・地域活性化に繋がる産業用地(仮称次世代型産業パーク)の整備を進めます。

■商業地域の活性化

●片山津温泉商業地域活性化事業 1,911万円

片山津温泉3区通りなどの中心部の賑わい創出と活性化のため、各種事業を行います。



●片山津温泉廃業旅館跡地整備事業 4億8,770万円

廃業旅館を解体し、観光誘客の推進や地域の活性化を図るために跡地整備を行います。

その他

■移動最適化の促進

●のりあい号×顔パス実証事業 8,313万円

地域交通体系「KAGAあんしんネット」に基づき、高齢者をはじめとした自家用車を利用できない人の通院、買い物など日常生活における移動手段を確保するとともに、外出の機会が増えることによる健康増進につなげます。



■心豊かで健康な市民生活の形成

●住まい相談支援事業 514万円

住まいに課題を抱える生活困窮者等に対し、総合的な相談支援から、見守り支援・地域とのつながり促進などの居住支援までを一貫して行う「住まいに関する支援システムの構築」に向けて、住まい相談支援員を配置し、必要な機関との連携や個別の相談に対して伴走支援を行います。



■学校教育ビジョンの加速化

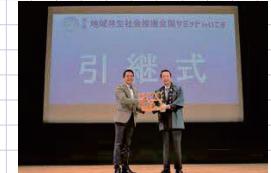
●学校教育ビジョン推進事業 1億4,353万円

「そろえる教育」から「伸びばす教育」へ、一人ひとり、それぞれの可能性を最大限に開花させる教育、「子どもが主役」の授業づくりを推進します。

■地域共生社会の推進

●地域共生社会推進全国サミット開催事業 2,318万円

制度や分野の縦割りや「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が自分のこととして参加し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしが生きがい、地域をともに創っていく共生社会の実現を目指します。



■知の広がり・文化の発信

●エンジン01in加賀温泉実行委員会運営事業 6,000万円

合併20周年を記念して、「エンジン01文化戦略会議オープンカレッジ」を開催することで、市内外から多くの人が集まり、日本文化のさらなる深まりと広がりを目指すとともに、加賀市の魅力を発信します。



▲3月に行われたエンジン01in加賀温泉実行委員会設立総会

産業集積

■加賀温泉駅を核とした誘客促進

●加賀温泉郷誘客促進事業 2,251万円

北陸新幹線加賀温泉駅開業効果を最大限に活かすための誘客促進事業を展開します。



●加賀温泉駅周辺施設整備事業 29億400万円

加賀温泉駅前広場を市の玄関口に相応しい観光客のお出迎えの空間として整備します。



■新産業の創出、先端技術

●エアモビリティ産業創出事業 335万円

市内の新たな産業基盤としてドローンおよびエアモビリティなど空の産業集積を目指して、関連事業者が研究・開発・実験等を実施することができる環境を整備します。



●THU開催事業 1,450万円

世界からデジタルクリエイターが集まるこことにより、加賀市を世界に発信するとともに、ものづくり企業を中心とした産業への活性化や市内企業における新たな産業やサービスの創出につなげます。

